



兵庫県社会福祉法人経営者協議会

令和4年度事業報告



みんなの「生きる」を
社会福祉法人



全体総括

新型コロナウイルス感染症の感染拡大から3年以上が経過し、感染症分類の2類相当から5類へ移行する等、世の中では感染前の状況を取り戻そうとしています。しかし、我々、福祉現場ではすぐに同様の対応を行うことには、慎重にならざるを得ないのが現状です。

また、コロナや物価高騰の影響は、法人経営を直撃し、報酬によるサービス料金が固定化されているため、価格高騰分を利用料に転嫁できないまま、経営が悪化するケースや、人材不足による事業縮小等が要因となり、2022年の「老人介護・介護事業」の倒産は全国で143件にのぼっています。

兵庫県経営協としては、会員が社会福祉法人として求められる社会的責任を果たし、地域における福祉の充実・発展を目指して、その経営基盤の強化と福祉サービスの質の向上に向けた取り組みを行えるよう、調査研究や研修会など様々な事業を展開してきました。令和4年度に実施した事業及び活動について、重点目標に沿って以下により報告します。

重点目標

A

会員法人の経営力向上への支援を行う

B

社会福祉法人による地域への貢献活動を推進する

C

福祉人材確保をはじめとする喫緊の課題
に向けた支援をする

D

経営協活動の充実に向けた経営基盤の強化

A

会員法人の経営力向上への支援を行う

- 今年度は、経営基盤の強化につながるよう、「多角化・多機能化」をテーマに法人経営トップセミナーや都道府県セミナーなどにおいてポイントなどについて積極的に発信を行った。
- また、経営強化検討委員会において「ガバナンス」をテーマに検討を重ね、計4回の委員会を開催した。さらに、法人経営トップセミナーにおいて、検討段階でみえてきたガバナンス強化に関する論点について発信を行った。
- 次年度も、引き続き、同検討委員会において「ガバナンス」をテーマに検討を深め、成果物の発信に向けて事業の展開を図っていく。

重点目標

A 会員法人の経営力向上への支援を行う

1. 法人経営トップセミナーの開催

『渋沢栄一に学ぶこれからの社会福祉法人経営』

～「論語と算盤」の両立による今求められる社会福祉事業経営とは～

開催日 : 令和4年12月16日 / 開催形式: ザ・マーカススクエア神戸 + オンライン
参加者 : 94名

講義 1

『社会福祉法人が備えるべき「ガバナンス」とは』

〔講師〕兵庫県経営協 経営強化検討委員会委員(弁護士) 中井 俊輔 氏

講義 2

『「論語と算盤」 ～渋沢栄一から学ぶ社会福祉事業～』

〔講師〕國學院大學経済学部 教授 杉山 里枝 氏

実践発表・ パネルディスカッション

『論語と算盤をテーマに、社会福祉法人の実践発表』

事例① 『算盤(多角化・多機能化)の事例』

〔登壇者〕社会福祉法人 博愛会(大分) 釘宮 謙悟 氏

事例② 『論語(ソーシャルワーク)の事例』

〔登壇者〕社会福祉法人 丘の上福祉会(広島) 西村 恵美子 氏

〔コメンテーター〕國學院大學経済学部 教授 杉山 里枝 氏

〔進行〕兵庫県経営協 副会長 石田 文徳

重点目標

A 会員法人の経営力向上への支援を行う

2. 近畿ブロックセミナーの開催

『人が組織を創り・強くする いまこそ福祉で働く価値を問う』

開催日 : 令和5年2月16日 / 開催形式: 神戸メリケンパークオリエンタルホテル+オンライン
参加者 : 242名

講演 1

『社会福祉法人とこれからの福祉の担い手』

〔講師〕植草学園大学 副学長／

毎日新聞 客員編集委員 野澤 和弘 氏

講演 2

『人を中心にした戦略人事とは』

〔講師〕株式会社 people first

代表取締役 八木 洋介 氏

基調報告

『制度改革の最新動向と社会福祉法人の役割』

〔講師〕全国社会福祉法人経営者協議会

会長 磯 彰格 氏

次回開催県 挨拶

次回開催地挨拶

〔登壇者〕大阪府社会福祉協議会 社会福祉施設経営者部会
部会長 大西 豊美 氏



重点目標

A 会員法人の経営力向上への支援を行う

3. 都道府県セミナー(前期)/7月例会の開催 『徹底解説！経営基盤を強くする経営協メソッド』

開催日：令和4年7月29日 / 開催形式：神戸クリスタルホール＋オンライン
参加者：62名

講義

『徹底解説！経営基盤を強くする経営協メソッド』

〔講師〕全国社会福祉法人経営協者協議会 経営強化委員長 久木元 司 氏
すべての福祉従事者の賃金引き上げに向けて経営協は何をしてきたか
連携、多角化・多機能化のノウハウ、教えます、経営協ドックの紹介のススメ など

案内

『年に1回、法人の健康診断を！ 経営協ドックのご案内』

登壇者：全国社会福祉法人経営者協議会 事務局
経営協ドックのデモンストレーション
コロナWT調査の報告 等

『次代リーダーの育成はココで！～全国青年会取組報告・入会PR』

登壇者：全国社会福祉法人経営者協議会 事務局

その他

トヨタレンタリース兵庫寄贈車輛抽選会

重点目標

A 会員法人の経営力向上への支援を行う

4. 青年協議会定例研修会の開催

『次世代の社会福祉法人を支える職員のために何が必要か』

開催日 : 令和4年10月7日(金)13:30~16:20

開催形式: オンライン

参加者 : 63名

基調講演

『職員一人ひとりの個性を生かすために ～福祉×レストランの取り組みから学ぶ～』

〔講師〕 株式会社クロフーディング代表取締役／一般社団法人FUKURO代表理事
NPO法人SDGsLABO理事長 黒岩 功 氏

実践発表

実践事例①「多様な雇用形態について」

〔登壇者〕 社会福祉法人生活クラブ風の村 仙田 哲也 氏

実践事例②「職員間コミュニケーションについて」

〔登壇者〕 社会福祉法人三社会 田中 賢介 氏

〔進 行〕 兵庫県社会福祉法人経営者協議会・青年協議会 副代表 坂本 和恵 氏

重点目標

A 会員法人の経営力向上への支援を行う

5. 社会福祉法人のための財務セミナーの開催旧:理事長のための経営講座 財務分析を活用した社会福祉法人の経営強化と公認会計士の役割

開催日 : 令和5年1月27日 / 開催形式: ザ・マーカススクエア神戸
参加者 : 77名

テーマ①

行政報告

〔講 師〕兵庫県健康福祉部社会福祉局 社会福祉課法人指導室長 北 茂正 氏

テーマ②

「日本公認会計士協会非営利法人委員会研究報告第27号「社会福祉法人の経営指標」について」

〔講 師〕日本公認会計士協会 社会福祉法人専門委員会専門委員 吉岡 浩二 氏

テーマ③

「国の調査研究事業が示す、経営分析の意義と法人経営の在り方について」

〔講 師〕昭和女子大学 グローバルビジネス学部 会計ファイナンス学科

教授 井出 健治郎 氏(厚労省「社会福祉法人の経営指導強化等に関する調査研究事業」座長)

パネルディス カッション

財務分析を活用した社会福祉法人の経営強化と公認会計士の役割

～「社会福祉法人の適正な法人経営に向けて」(社会福祉法人経営強化検討委員会「財務編」報告書)の理解と実践～

〔登壇者〕兵庫県 福祉部総務課 法人指導官 北 茂正 氏

社会福祉法人 三翠会 理事長 田崎 幹雄 氏

日本公認会計士協会兵庫会 公認会計士 岡村 新平 氏

兵庫県経営協 経営強化検討委員会 委員 谷村 誠

兵庫県経営協 経営強化検討委員会 委員 坂井 浩史 氏

〔アドバイザー〕昭和女子大学 教授 井出 健治郎 氏

〔コーディネーター〕日本公認会計士協会兵庫会 非営利法人委員長 森山 恭太 氏

A 会員法人の経営力向上への支援を行う

6. 社会福祉法人経営強化検討委員会の開催

●第9回 令和4年5月19日（参加者:17名）

- (1) アンケートのねらい、実施方法について
- (2) アンケート案について

●第10回 令和4年7月7日（参加者:20名）

- (1) 今後の協議の進め方について
- (2) ガバナンス編報告書の柱建てについて

●第11回 令和4年10月6日（参加者:14名）

- (1) 適切な経営判断を下すための理事会等の機能と期待される役割について
- (2) 攻めの経営に寄与する財務分析と監事に期待される役割について
- (3) 地域に開かれた組織運営を目指し評議会等に期待される役割について

●第12回 令和5年1月12日（参加者:19名）

- (1) 攻めの経営に寄与する財務分析と監事に期待される役割について(再)
- (2) 地域に開かれた組織運営を目指し評議会等に期待される役割について

A 会員法人の経営力向上への支援を行う

7. 社会福祉法人経営に関する意見交換会の開催

「兵庫県における社会福祉法人の指導監査状況」

～「ガバナンス」に着目した牽制機能について～

をテーマに、兵庫県、神戸市、姫路市の行政担当者と意見交換会を開催し、法人経営上の課題共有を図った。

社会福祉法人経営強化検討委員会における「ガバナンス」についての検討状況について、説明し、法人がおかれている現状について共有するとともに連携強化を推進した。

開催日 : 令和5年1月12日

会場 : 神戸メリケンパークオリエンタルホテル

参加者 : 24名(うち行政関係者6名)

重点目標

A 会員法人の経営力向上への支援を行う

8. 経営計画の策定支援(県社協との協働事業)

平成29年度に県社協と協働で作成した「社会福祉法人経営計画策定ワークブック」を会員法人に配布し、同ワークブックを活用し、経営計画の策定支援を行った。

1) 経営計画策定リーダー養成ゼミナール（全5回）

社会福祉法人の経営計画の策定支援を行うリーダー養成のために開催した。

〔講 師〕

兵庫県立大学 社会科学部研究科 経営専門職専攻 教授 當間 克雄 氏

日程

- 9月22日（第1回）
- 10月21日(第2回)
- 11月25日(第3回)
- 12月23日(第4回)
- 2月24日（第5回）

参加者:9法人38名

重点目標

A 会員法人の経営力向上への支援を行う

8. 経営計画の策定支援(県社協との協働事業)

2) 経営計画策定セミナー

社会福祉法人における経営計画策定の基礎を学び
経営計画策定までの実践とその必要性について紹介
をテーマに、経営計画策定の基本と効果、法人の将来ビジョン実現のための
取り組みについて学ぶことを目的に開催した。

開催日 : 令和4年8月5日 / 会場: オンライン
参加者 : 38名

講義

「なぜ社会福祉法人には経営計画策定が必要なのか～次世代リーダーの育成に繋げる～」
〔講師〕 兵庫県立大学 社会科学部 経営専門職専攻 教授 當間 克雄 氏

実践報告

「経営計画策定ワークブックを活用した経営計画策定経緯と
実際の取り組みについて」

〔報告者〕 社会福祉法人円勝会
社会福祉法人木の芽福祉会

當銘 翼氏
宇野 大典氏

〔解説・コーディネーター〕 兵庫県立大学 社会科学部 経営専門職専攻 教授 當間 克雄 氏

重点目標

A 会員法人の経営力向上への支援を行う

9. 社会福祉事業経営相談事業への運営協力 (兵庫県社協との協働事業)

多様な経営課題の解決に向け、
県社協の社会福祉事業経営相談事業の運営に協力した。

相談員 : 1名(週3回)

専門相談員: 公認会計士 前原 啓二 氏(月1回)

相談件数 : 313件

B

社会福祉法人による地域への貢献活動を推進する

- 社会福祉法人連絡協議会(ほっとかへんネット)の未設置地域10市町を訪問し、立上げに向けたヒアリングを実施し、勉強会や準備会への協力を行った。令和4年度は、稲美町、養父市、福崎町でほっとかへんネットが設置された。
- 現在、県内40市区町で整備されているほっとかへんネットにおいて、地域の実情に合わせた様々な事業が展開される中、テーマ別に情報交換を実施するとともに、具体的な活動の一例として生活困窮者支援をテーマにセミナーを開催した。
- また、令和3年度に締結した課題を抱える妊産婦等の就労等の支援について、兵庫県と協力し、登録法人での雇用に向けた調整を行うとともに、仕組みづくりについて検討を行った。
- 次年度も引き続きほっとかへんネットを核とした地域の実情に合わせた多様な活動が展開されるよう、その取り組みを推進するとともに、災害支援体制の整備に向けた取り組みを県・県社協と協働して進めていく。

重点目標

B 社会福祉法人による地域への貢献活動を推進する

1. 地域公益活動の推進

県社協と協働設置した「社会福祉法人連絡協議会代表者等連絡会」や地域公益活動推進セミナーを開催し、「社会福祉法人連絡協議会(ほっとかへんネット)」の全県的な設置促進及び「地域における公益的な取組」の推進を支援した。

1) 社会福祉法人連絡協議会代表者等連絡会の開催

開催日 : 令和5年3月23日 / 開催形式 : オンライン

参加者 : 67名

報告

「ほっとかへんネットを取り巻く情勢について」

[報告者] 兵庫県社会福祉協議会 事務局次長 杉田 健治

実践報告

「大学とほっとかへんネットの連携による人材確保に向けた取組(丹波市)」

[報告者] ほっとかへんネット丹波 代表 澤村 安由里 氏

武庫川女子大学文学部 心理・社会福祉学科 教授 松端 克文 氏

情報交換

「テーマ別情報交換会」

テーマ①災害支援、テーマ②相談支援、テーマ③食糧支援※立上げ準備中の市町も参加

[進行] 兵庫県社会福祉法人連絡協議会代表者等連絡会 代表 澤村 安由里 氏

[アドバイザー] 兵庫県社会福祉法人経営者協議会 会長 谷村 誠 氏

兵庫県社会福祉法人連絡協議会代表者等連絡会 副代表 金子 良史 氏

兵庫県経営協青年協議会 監事 大和田 順 氏

兵庫県経営協青年協議会 副代表 井塚 啓文 氏

重点目標

B 社会福祉法人による地域への貢献活動を推進する

1. 地域公益活動の推進

2) 地域公益活動推進セミナー

社会福祉法人連絡協議会の活動を活かした生活困窮者支援をテーマに開催した。(兵庫県社協との共催)

開催日 : 令和5年3月23日 / 開催形式 : オンライン
参加者 : 87名

基調講義

「生活困窮者支援制度の国の制度見直しと社会福祉法人に期待される役割とは」

〔講師〕 大阪公立大学大学院 都市経営研究科 准教授 五石 敬路 氏

実践レポート

「生活福祉資金の貸付状況から見える現状とほっとかへんネットの活動について」

〔登壇者〕 相生市社会福祉協議会 主幹 元佐 朋亨 氏

「一時生活支援の実践から見える課題と社会福祉法人の役割」

〔登壇者〕 社会福祉法人 南光社会福祉事業協会 南光園 施設長 武内 明大 氏

「経営協が実施する制度の狭間に向けた取組みと社会福祉法人の使命について」

〔登壇者〕 兵庫県社会福祉法人経営者協議会 会長 谷村 誠 氏

パネルディスカッション

「社会福祉法人・社協の連携による生活困窮者支援を考える」

〔パネリスト〕 実践レポート登壇者

〔コーディネーター〕 大阪公立大学大学院 都市経営研究科 准教授 五石 敬路 氏

重点目標

B 社会福祉法人による地域への貢献活動を推進する

1. 地域公益活動の推進

3) 社会福祉法人連絡協議会の設立支援

県社協と連携し、ほっとかへんネット未設置の市町に対し、個別訪問し立ち上げに向けたヒアリング調査を行った。また、勉強会や研修会など立ち上げに向けた支援を行った。

日程

- 9月1日(猪名川町)
 - 9月13日(多可町)
 - 9月21日(淡路市)
 - 9月28日(神河・市川)
 - 9月28日(太子町)
 - 10月13日(朝来市)
 - 10月14日(香美町)
- 令和4年度設立
稲美町、養父市、福崎町
県内40市区町
(81.6%)に設置済

4) 助成金による設立・活動支援について(県社協との協働事業)

- 「社会福祉法人連絡協議会」設立支援事業による助成金
2件 合計 200,000 円
- 「社会福祉法人連絡協議会」活動支援事業による助成金
8件 合計 210,000 円

重点目標

B 社会福祉法人による地域への貢献活動を推進する

2. 制度の狭間に対する対応

1) 兵庫県と兵庫県経営協との協定に基づく、 課題を抱える妊産婦等の就労等支援について

課題を抱える妊産婦等の自立に向け、就労先として社会福祉施設を確保し、こうした課題に対し就労や生活課題への支援に連携して取り組んでいる。令和4年度は、2件の受入れ相談があり、就労先との調整を行った。受け入れに関するスキームについて、役員会で検討を進めている。



令和4年3月11日:協定書締結

C

福祉人材確保をはじめとする喫緊の課題 に向けた支援をする

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大によってもたらされた様々な弊害は、いかなる場面でも福祉サービスを継続的に提供する必要性を一層明らかにすると同時に、人材不足、処遇の問題など常態化する課題を改めて示す形となった。経営協としては、恒常的な処遇改善に向け、報酬の引上げを引き続き要望していく。
- 令和4年度より社会福祉連携推進法人制度が施行され、本県においても1カ所設立されることとなった。経営協としては、連携推進法人の動向を伝えるとともに、法人間連携や事業譲渡、合併などの事例について、セミナーで発信した。
- また、多発する大規模災害に対する備えとして、平時から法人間で支え合う仕組みづくりや、ほっとかへんネットを単位としたDWATの登録を推進した。新たにほっとかへんネット洲本において、登録者47名が加わり、県内で102名の方々が登録された。
- 次年度も引き続き、丁寧な情報発信を進めるとともに、DWATの登録を拡大し、兵庫県と県社協と協働しながら登録者に対する研修の内容充実に向けた協議を進めていく。

重点目標

C 福祉人材確保をはじめとする喫緊の課題 に向けた支援をする

1. 10月例会の開催

社会福祉法人の経営再生

～合併・事業譲渡・連携推進法人の実態から～

開催日:令和4年10月20日 / 開催形式 :神戸メリケンパークオリエンタルホテル+オンライン
参加者:87名

行政説明

「社会福祉連携推進法人制度について」

〔講師〕 兵庫県福祉部総務課 法人指導官 北 茂正 氏

基調講演

「社会福祉法人の経営再生

～合併・事業譲渡・連携推進法人の実態から～」

〔講師〕 明治学院大学 経済学部 講師 大川 新人 氏

質疑応答

「合併・事業譲渡・連携推進法人に関する質疑応答」

〔登壇者〕 明治学院大学 経済学部 講師 大川 新人 氏

兵庫県福祉部総務課 法人指導官 北 茂正 氏

〔進行〕 兵庫県社会福祉法人経営者協議会 副会長 伊達 恵一

重点目標

C 福祉人材確保をはじめとする喫緊の課題 に向けた支援をする

2. 都道府県経営協セミナー(後期)の開催(全国経営協と共催)

社会福祉法人を取り巻く情勢について、

「全世代型社会保障構築会議」、「こども家庭庁の創設」
「生活困窮者支援」、「福祉の生産性向上、ICTの活用」
をキーワードに解説

開催日 : 令和5年1月26日／開催形式 : 神戸メリケンパークオリエンタルホテル＋オンライン
参加者 : 58名

情勢説明

「コロナにも物価高にも負けない！未来に続く法人経営のヒント」

〔講師〕 全国社会福祉法人経営協者協議会 制度・政策委員会

専門委員 安河内 達 氏

説明①

「入っててよかった青年会」

〔講師〕 全国社会福祉法人経営青年会 事務局

〔登壇者〕 社会福祉法人友朋会 藤澤 徹 氏（兵庫県青年協議会OB）

説明②

「もっと使って！経営協」

〔講師〕 全国社会福祉法人経営青年会 事務局

重点目標

C 福祉人材確保をはじめとする喫緊の課題 に向けた支援をする

3. 人材確保・定着に向けた支援

1) 福祉の就職総合フェアの共催

福祉人材の確保・定着に向けて、福祉の就職総合フェアを兵庫県社協と共催した。

第
1
回

- ・ 開催日 令和4年7月9日
- ・ 出展法人 134法人
- ・ 参加者数 293名

第
2
回

- ・ 開催日 令和5年3月4日
- ・ 出展法人 128法人
- ・ 参加者数 272名

2) 青年協による魅力発信コーナーの運営

「福祉の就職総合フェア」において、最新の福祉機器の展示及び専門職によるケアの実演を行うとともに、社会福祉法人の若手管理職や専門職によるトークショーを通じて、福祉・介護の仕事の魅力を発信した。



重点目標

C 福祉人材確保をはじめとする喫緊の課題 に向けた支援をする

3. 人材確保・定着に向けた支援

3) 社会福祉研修委員会への参画

兵庫県社協 社会福祉人材研修センターが実施する
社会福祉研修委員会に参画し、福祉人材の育成に協力した。

重点目標

C 福祉人材確保をはじめとする喫緊の課題 に向けた支援をする

4. 災害支援体制の整備に向けた支援

1) 兵庫県DWATの整備に向けた取り組み

全国的に整備が進められる**災害派遣福祉チーム(DWAT)**について、兵庫県では市町域を単位として身近な範囲における相互支援を基盤としてその支援体制を整備していく方針を掲げ、**社会福祉法人連絡協議会(ほっとかへんネット)**による展開を進めていくこととなった。

経営協では、兵庫県地域福祉課・県社協と協力してその推進を図るため、ほっとかへんネットや本会会員に向けて、研修会等の案内を行った。

令和4年7月に兵庫県で初めて「**DWAT基礎研修**」を兵庫県が開催し、経営協として開催協力を行った。

令和4年度は、**ほっとへんネット洲本**の協力を得て、福祉施設職員等**47名**の登録が行われ、**県内で102名**の方々が登録された。

D

経営協活動の充実に向けた経営基盤の強化

- 組織基盤の強化を図るため、入会案内のパンフレットの配布等を行うとともに、種別協と連携した加入勧奨を行い、会員拡大を行った。
また、全国経営協と協働しモニター会員を募り、エビデンスに基づいた迅速な要望活動も行った。
- また、令和5年度に**全国社会福祉法人経営者大会(兵庫大会)**を控えており、青森大会で、次回開催県としてPR活動を行った。
- 次年度も引き続き、会員拡大、会員への情報発信、提言活動を促進する。

重点目標

D 経営協活動の充実に向けた経営基盤の強化

1. 会員の拡大

1) 新規会員の加入促進

青年協が実施するゼミナールや都道府県セミナー等での加入勧奨を行った。

○入会 : 3法人

2) 青年協議会会員の加入促進

入会案内のパンフレットの配布や例会等での加入勧奨を行った。

○入会 : 6名

重点目標

D 経営協活動の充実に向けた経営基盤の強化

2. 制度・情勢に関する情報活動

会員法人の経営基盤強化のため、社会福祉制度動向等をタイムリーに情報提供するとともに、本会の活動・事業について積極的に発信した。

1) 月刊「経営協」の配布

全国経営協発行の月刊「経営協」を会員に配布した。(全国経営協より会員へ直送)

2) 「経営協情報」のメール配信

全国 経営協が随時作成する「経営協情報」を会員にメール配信した。
また、各種研修や助成金等に関する情報を会員にメール配信した。

重点目標

D 経営協活動の充実に向けた経営基盤の強化

3. 要望活動

会員法人の経営基盤強化のため、社会福祉制度動向等をタイムリーに情報提供するとともに、本会の活動・事業について積極的に発信した。

1) 兵庫県への政策提言活動

県内の社会福祉法人に共通する経営課題への対応として、兵庫県への政策提言内容を理事会にて協議し、県社協の「社会福祉政策委員会」と連携し、提言活動を行った。

提言内容

(1) 県内所轄庁に対しての兵庫県の積極的な働きかけ及び

アドバイザー派遣事業の創設

- ① 兵庫県事業をモデルとした県内所轄庁への積極的な働きかけ
- ② 経営悪化法人の経営再生を支援するアドバイザー派遣事業の創設

(2) 福祉・介護人材確保対策の推進

- ① データを活用したイメージ戦略の推進
- ② 福祉施設実習生に向けた財政的な支援

(3) 経済情勢を踏まえた施設整備にかかる財政支援対策の実施

重点目標

D 経営協活動の充実に向けた経営基盤の強化

4. 組織運営

県内の社会福祉法人の経営基盤を強化するため、会員拡大に努めるとともに、総会・理事会・例会等の開催を通じて、本会の円滑な運営を図った。

1) 第42回総会・記念講演会の開催

新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため、オンラインで開催した。
会員法人351法人中212法人より同意の意思表示を得て、以下の議案が承認された。

開催日：令和4年5月12日

開催方法：オンライン開催

出席者：32法人

表決書：52法人

委任状：129法人

計：213法人

総会

<議 事> [第1号議案] 令和3年度事業報告(案)
[第2号議案] 令和3年度決算(案)
[監査報告]
[第3号議案] 令和4年度事業計画(案)予算(案)
[第4号議案] 令和4年度予算(案)
[第5号議案] 監事の選任について

<その他> 青年協議会活動報告

記念講演会

「こどもまんなか社会を目指し今求められること」

[祝 辞] 文部科学大臣 末松 信介 氏 (ビデオメッセージ)

[講 師] 文部科学省 事務次官 義本 博司 氏

D 経営協活動の充実に向けた経営基盤の強化

4. 組織運営

2) 理事会の開催

●第266回理事会 令和4年4月21日

(会場:兵庫県福祉センター 参加者:15名)

- ＜議事内容＞
- (1)令和3年度事業報告(案)・決算(案)について
 - (2)令和4年度事業計画(案)・予算(案)について
 - (3)監事の選任について
 - (4)第42回総会について
 - (5)令和4年度兵庫県の社会福祉政策の提言について

●第267回臨時理事会 令和4年5月12日

(会場:神戸メリケンパークオリエンタルホテル 参加者:14名)

- ＜議事内容＞
- (1)副会長の選任について

重点目標

D 経営協活動の充実に向けた経営基盤の強化

2) 理事会の開催

●第268回理事会 令和4年7月29日

(会場:神戸クリスタルホール クリスタルタワー 参加者:16名)

- ＜議事内容＞
- (1)全国社会福祉法人経営者大会(青森大会)について
 - (2)全国経営協モニター会員・地域公益活動の登録状況について
 - (3)令和4年度「10月例会」について
 - (4)令和4年度「法人経営トップセミナー」について
 - (5)近畿ブロックセミナーについて

●第269回理事会 令和4年10月20日

(会場:神戸メリケンパークオリエンタルホテル 参加者:16名)

- ＜議事内容＞
- (1)令和4年度「法人経営トップセミナー」について
 - (2)令和4年度社会福祉法人経営に関する意見交換会について
 - (3)近畿ブロックセミナーについて
 - (4)課題を抱える妊産婦等の就労支援について
 - (5)自立に向けた社会参加の支援に係る受け皿整備について

重点目標

D 経営協活動の充実に向けた経営基盤の強化

2) 理事会の開催

●第270回理事会 令和5年1月26日

(会場:神戸メリケンパークオリエンタルホテル 参加者:14名)

- ＜議事内容＞
- (1) 会員法人の各種事業の参加状況について
 - (2) 令和4年度事業の振返り及び令和5年度事業計画の新規・重点事業について
 - (3) 第42回全国社会福祉法人経営者大会(兵庫大会)の準備について
 - (4) 令和4年度近畿ブロックセミナーについて
 - (5) 令和5年度役員会等の日程及び次期役員改選について

重点目標

D 経営協活動の充実に向けた経営基盤の強化

4. 組織運営

3) 正副会長会議の開催

- 第1回 令和4年4月7日
- 第2回 令和4年7月7日
- 第3回 令和4年10月6日
- 第4回 令和5年1月12日

4) 監事監査の実施

監事により令和3年度事業報告・決算について監査を実施した。(令和4年4月13日)

重点目標

D 経営協活動の充実に向けた経営基盤の強化

4. 組織運営

5) 全国経営協との連携協力

全国経営協主催のブロック会議(近畿)に参画し、会員法人の経営課題や本会の問題意識について意見交換を行った。

- 開催日 : 令和4年4月18日
- 会場 : ホテルグランヴィア京都
- 参加者 : 役員5名

重点目標

D 経営協活動の充実に向けた経営基盤の強化

4. 組織運営

6) 近畿経営協との連携協力

近畿社会福祉法人経営者協議会役員会・協議員総会等の会議に出席し、近畿社会福祉法人経営者協議会の運営に協力した。

役員会

- 第1回 4月18日
- 第2回 6月14日
- 第3回 7月19日
- 第4回 8月16日
- 第5回 11月15日
- 第6回 12月13日
- 第7回 1月17日
- 第8回 2月16日

近畿経営協研修会を同時開催

近畿経営協研修会を同時開催

近畿ブロックセミナーを同時開催

協議員総会

- 第1回 7月15日
- 第2回 2月16日

近畿ブロックセミナーを同時開催

令和4年度兵庫県社会福祉法人経営者協議会 決算

収入	31,953,312 円
支出	30,839,060 円
収支	1,114,252 円（次年度繰越金）

<収入の部>

（単位：円）

科	目	予算額（a）	決算額（b）	比較増減 (b)-(a)	備 考
1	会費				274法人＋県のみ9法人＋免除69法人 計352法人 ・大規模（10億円超） 110,000円 × 62法人 ・一般（2～10億円） 70,000円 × 164法人 ・小規模（2億円未満） 35,000円 × 48法人 ・県のみ 25,000円 × 9法人
2	交付金				全国経営協からの組織活動費 @17,000円×345法人＋@17,000円R3免除22法人分
3	事業収入				セミナー等非会員参加費
4	助成金収入				近畿ブロックセミナー助成金 800,000円 都道府県セミナー助成金×2回 200,000円
5	雑収入				預金利息等
6	繰越金				
	合 計	36,634,000	31,953,312	△ 4,680,688	

<支出の部>

（単位：円）

科	目	予算額（a）	決算額（b）	比較増減 (b)-(a)	備 考
1	運営費	4,700,000	4,722,450	22,450	
	(1) 事務費	500,000	602,209	102,209	パソコンリース代、郵便代、印刷機使用代等
	(2) 事務局運営費	4,100,000	4,100,000	0	事務局運営負担金 正規職員1/2＋嘱託職員1名分
	(3) 連絡調整費	100,000	20,241	△ 79,759	慶弔費等
2	事業費	8,205,000	8,636,610	431,610	
	(1) 会議費	1,900,000	2,644,546	744,546	総会、理事会、正副会長会議、例会等の開催経費
	(2) 研修費	3,000,000	3,603,435	603,435	法人経営トップセミナー、都道府県セミナー、近 畿ブロックセミナーの開催経費
	(3) 調査研究費	1,255,000	989,263	△ 265,737	経営強化検討委員会、行政との意見交換会の開催 経費
	(4) 法人活動支援費	1,550,000	899,366	△ 650,634	情報発信、ホームページの運用等
	(5) 青年協活動費	500,000	500,000	0	青年協活動助成
3	分担金				274法人 ・大規模（10億円超） 100,000円 × 62法人 ・一般（2～10億円） 60,000円 × 164法人 ・小規模（2億円未満） 30,000円 × 48法人
4	予備費	1,559,000	0	△ 1,559,000	
	合 計	36,634,000	30,839,060	△ 5,794,940	

貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債・純財産の部	
科目	金額	科目	金額 (円)
預金	4, 137, 083	未払金	56, 831
未収金	34, 000	預り金	0
		財政調整積立金	3, 000, 000
		繰越金	1, 114, 252
合計	4, 171, 083	合計	4, 171, 083

財産目録

令和5年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債・純財産の部	
科目	金額	科目	金額 (円)
預金	4, 137, 083	未払金	56, 831
但馬銀行普通預金 (上筒井支店)	1, 137, 083	預り金	0
但馬銀行定期預金 (上筒井支店)	3, 000, 000		
未収金	34, 000	負債合計	56, 831
資産合計	4, 171, 083	正味財産	4, 114, 252

未収金明細書

令和5年3月31日現在

(単位：円)

相手先	金額	内訳
全国社会福祉法人経営者協議会	34, 000	R4組織活動費 (キャンペーン入会分 @17, 000円×2法人)
計	34, 000	

未払金明細書

令和5年3月31日現在

(単位：円)

相手先	金額	内訳
兵庫県社会福祉協議会	370	職員 1 名分旅費
日本郵便㈱	51, 732	令和5年3月 後納郵便料
リコージャパン㈱	990	3月分Microsoft 365利用料
兵庫県社会福祉協議会	3, 739	令和4年10月～令和5年3月 車両維持管理経費
計	56, 831	

預り金明細書

令和5年3月31日現在

(単位：円)

相手先	金額	内訳
-	0	
計	0	